

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 107-0052  
 住 所 東京都港区赤坂1-9-20  
 氏 名 ジャパンエクセレント投資法人 印  
 執行役員 戸田 千史  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ジャパンエクセレント投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町66番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産投資信託の投資法人		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	6,513	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	不動産投資本部 不動産運用部
		所在地	東京都港区赤坂1-9-20
		電話番号	03-5575-3577
		FAX番号	03-5575-0310
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 12,859 t-CO <sub>2</sub> (調) 11,250	(実) 13,096 t-CO <sub>2</sub> (調) 11,448	(実) 11,017 t-CO <sub>2</sub> (調) 9,659	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 12,473 t-CO <sub>2</sub> (調)
削減率		(実) -1.8 % (調) -1.8	(実) 14.3 % (調) 14.1	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0			
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準排出量に対し、全体としては1.8%の増となった。興和川崎西口ビルでは冷暖房設定温度の調整や風量ダンパーの調整等で約3.6%削減することが出来た。武蔵小杉タワープレイスでは駐車場給気ファンの間引き運転、空調機運転時間の短縮等の削減対策を行うも、ビルの入居率が95%から100%に上がったこと、及び夏の猛暑により空調エネルギー使用の増加により約8.3%の増となった。
第2年度	基準排出量に対し 全体で14.1%減となった。興和川崎西口ビルで冷房28度設定（共・専用部）・一部ファンの運転停止・外気取入量の調整・エントランスの空調輪番運転・管球間引き・入居テナント協力による専用部照明の消灯等により15.1%減。武蔵小杉タワープレイスでは空調運転時間の短縮・冷房28度設定（共・専用部）・駐車場給気ファンの間引き運転・照明減灯により9.7%減に繋がったもの。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○主設備等の保安全管理 〔基本対策〕</li> <li>○空気調和の整備</li> <li>○空調設備の管理 〔目標対策〕</li> <li>○最適な風量制御等</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主設備等の保安全管理 管理標準の見直しを実施(①各主要設備の計測記録はされていたが推進体制、運用方法の特段の定めがなかったため項目を追加。②管理標準の内容と現場の実態に齟齬がないように現地責任者と確認を行い点検資料が二重にならないよう見直しを行った。)</li> <li>○空気調和の整備 共用部空調の冷房温度を市の推奨する28℃への設定を行った。</li> <li>○空調設備の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部707の空調について使用状況に応じ風量ガンパ-の開度を調整し、風量変更を実施。</li> <li>・駐車場給排気ファンの運転時間を短縮する運用に変更。</li> </ul> </li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空気調和の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共用部の冷房温度を28℃に設定し運転、本年より専用部も28度設定とし運用を行った。</li> <li>・7~9月にビルエントランスの空調(冷房)を輪番運転させた。</li> </ul> </li> <li>○空調設備の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調使用状況に応じガンパ-開度を調整、適正な風量の維持に努めた。</li> <li>・駐車場給排気ファンの短縮運転を実施した。</li> <li>・ボイラー内の空気比を調節、燃焼効率を向上させた。</li> </ul> </li> </ul>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策をする。</li><li>・ テナントへの環境負荷逡減の協力要請を行う。</li></ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎月廃棄物業者から提出される廃棄物量データを管理し、廃棄物量の把握を行った。</li><li>・ 館内に省エネ喚起のポスターの掲示を実施した。</li></ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 館内に省エネ喚起・節電協力依頼文書を掲示した。</li><li>・ 入居テナント各社を往訪、節電依頼を実施した。</li><li>・ 廃棄物量データを管理し、廃棄量の把握を行った。</li><li>・ 共用部（各階廊下・階段室・エントランス等）の乾球間引きを実施した。</li></ul>
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	10,139	t-CO <sub>2</sub>
(調)	10,123	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
興和川崎西口ビル	幸区堀川町66番2号	6909	不動産賃貸業・管理業	3,913 t-CO <sub>2</sub>
武蔵小杉タワープレイス	中原区小杉町1丁目403番地	6909	不動産賃貸業・管理業	2,924 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
興和川崎東口ビル	川崎区日進町1番地53	6909	不動産賃貸業・管理業	1,920 t-CO <sub>2</sub>
川崎日進町ビルディング	川崎区日進町7番地1	6909	不動産賃貸業・管理業	1,382 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--